

学校法人昭徳学園
令和7年度 事業報告



学校法人 昭徳学園
九州動物学院

令和8年3月

I 概要

本学院は平成16年に創立されました。当初、無認可校からはじまった当学院は、創立13年目、平成28年4月から学校法人として認可された専修学校として新しい歩みをはじめました。

本学院の教育は生命の尊厳を第一とし、動物の保健・医療・福祉に関する専門知識および技術の修得を目標に掲げています。

教育水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的な責任を果たし、与えられた使命を達成するために、自らの責任において教育研究活動や管理運営等について自己点検評価、学校関係者評価等とおして高位平準化に努めてきたところです。

このような中、令和元年6月に「愛玩動物看護師法」が成立し、動物看護学科は令和4年より同法の施行に伴い、本学院愛玩動物看護師の養成を目的に3年制とし、令和4年4月1日に本学院は国家試験受験可能となる養成所と指定されました。

本年度も、学院体制の充実等 様々な課題について取り組みましたのでご報告いたします。

II 基本的運営方針

〈 基本理念 〉

生命を尊重し、動物と人間社会に真の絆を築き、
動物の保健・医療・福祉・愛護および適正飼養の分野に貢献できる人材の育成

〈 教育目標 〉

- 1 命の尊厳を基盤に、動物の権利を尊重し、かつ豊かな人間性を養う。
- 2 動物の保健・医療・福祉・愛護および適正飼養にかかわる専門職としての知識、技術および態度を養う。
- 3 広い視野に立ち、生涯を通じ課題探求と問題解決力を養う。

〈 院訓 〉

敬 天 尊 命

III 令和7年度の重点目標及び計画と進捗状況及び実績

1 教育の質の向上

目標 愛玩動物看護師養成所として2年目の3年次に43名が進級、国試全員合格

実績 3年生国試対策のため8:30に登校。模擬試験実施。統合演習等対策

エデュワードプレス国試模試結果3年生合格率75% (11月) →30% (1月)

2月15日 国家試験43名受験

目標 引き続き高等教育の修学支援制度対象校としての、教育機会の向上を図る。併せて奨学金制度の積極的な利用推進、文科省職業実践専門課程認定校を対象とした厚労省「教育訓練給付制度」も認定され活用した。

実績 令和7年度修学支援更新決定

令和7年度修学支援実績1年生25名、2年生22名、3年生9名の支援実施

令和7年度教育訓練給付制度 利用実績3名

奨学金制度利用実績 1年生47名、2年生37名、3年生17名が利用

2 学校運営の点検・評価・再構築

目標 自己点検評価、学校関係者評価制度の結果に基づき、学校運営の向上を図る。

実績 令和6年自己点検評価実施

令和7年9月20日学校関係者評価実施

- 3 九州動物学院 20 周年史の発刊
令和 6 年（2024 年）4 月 7 日学院は創立 20 周年を迎え、令和 7 年 11 月 11 日に「九州動物学院 20 周年史」を発刊。
- 4 基本理念、教育目標の実効性の担保
目標 「卒業認定・学位授与」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラムポリシー）及び「入学者受け入れの方針」（アドミッションポリシー）を策定し、より具体的な教育実践につなげる。
実績 令和 3 年 4 月 1 日 3 つのポリシーを定め、ホームページに掲載し学生募集等で案内活動 VI に記載
- 5 学生募集の強化
目標 安定した学生数の確保が可能となるよう組織と広報手法の改善を行い、強化を図る。
実績 令和 5 年から高等学校との連携強化を図り、入試制度などについて高校側と協議を重ねた。高校担当教師を招き九動進学説明会を実施。21 高校から 22 名の参加者があり、昨年度を高等学校長推薦枠、自己推薦枠、一般入試と多様な出願希望に沿った入試を行った。
- 6 国際交流の推進
目標 海外の動物に関わる大学、専門学校に関して学生職員間の相互交流や共同研究をとおして国際交流ならびに獣医療及び動物福祉の発展に寄与する。
実績 令和 6 年 10 月 2 日、MOU を締結したインドネシア国立ウダヤナ大学（バリ州）に徳田学院長がウダヤナ大学学長を表敬訪問、今後の狂犬病対策と学生交流について協議。
前回に引き続き海外研修でバリ島訪問。令和 7 年 11 月 10 日～11 月 15 日。
2 年生 52 名、職員 3 名がウダヤナ大学獣医学部学生、教職員等と交流活動を行った。
- 7 修学支援
目標 引き続き高等教育の修学支援制度対象校としての、教育機会の向上を図る。
併せて奨学金制度の積極的な利用推進を行う。

IV 学院運営体制

(1) 学校法人昭徳学園役員

理事	氏名	評議員	氏名
理事長	徳田 昭彦	評議員 31 条 3	森下 久男
理事	牛島 浩	評議員 31 条 3	前田 しのぶ
理事	栢田 聖孝	評議員 31 条 3	大川 恵子
理事	須崎 晋一	評議員 31 条 3	白石 史絵
理事	本田 公三	評議員 31 条 3	吉川 文香
監事	本山 桂子	評議員 31 条 3	井上 竜一
監事	中原 孝	評議員 31 条 3	山中 彩紗子

(2) 専任教員・職員・講師

1. 専任教員

氏名	職務	担当科目
徳田 昭彦	学院長	講話、動物外科看護学実習 I
本田 公三	副学院長	生命倫理・動物福祉
高木 弘和	教頭（3 学年副担任）	海外研修、掃除学、販売学、プレゼンテーションスキル、保護猫譲渡活動、ミルクボランティア

大杉剛生	主幹 (学術担当)	動物形態機能学、動物繁殖学、動物感染症学 (寄生虫)、公衆衛生学、比較動物学、動物臨床検査学、動物疼痛管理学
津田 圭子	主幹 (教務担当)	動物栄養学、愛玩動物学、統合演習、保護猫譲渡活動、ミルクボランティア
工藤 正則	主幹 (学生担当、1 学年副担任)	
森元 和昭	主幹 (危機管理担当)	
西島 信彦	学生課長	ライセンス対策
林 小百合	主幹 (総務担当)	
井上 竜一	教務課長 (1 学年担任)	愛玩動物飼養 I、人と動物の関係学、動物生活環境学、飼育実習、統合演習
林 典子	事務長	
紫垣 知江	学生課主任	
橋本 沙耶	教務課主事 (2 学年副担任)	トリミング実習、飼育実習
高橋 理美	事務局主事	
後藤 翔太	教務課主事 (3 学年担任)	愛玩動物飼養学、統合演習、飼育実習
乗本 莉奈	教務課 (2 学年担任)	統合演習、飼育実習

2. 講師

氏名	担当科目
池上 美紀	動物内科看護学、動物臨床看護学総論、看護学概論、グリーフケア概論、統合演習
井手 浩信	動物理学療法、動物臨床看護学
平野 孝昭	動物感染症学 (総論・微生物学)、動物病理学
大川 恵子	動物看護総合実習
大塚 敦子	動物行動学 I、愛玩動物学
小山 房子	パソコン学
北島 眞実子	動物形態機能学、動物皮膚病学、動物形態機能学実習
黒田 将仁	動物外科看護学
合志 潤子	動物看護総合実習、動物臨床看護学実習
白石 史絵	
島本真由美	動物愛護・適正飼養関連法規、統合演習
田嶋 義高	
高木奈穂美	動物医療コミュニケーション
樽田 侑	動物臨床看護学各論 I
長倉 絵里花	トリミング実習
中嶋 友美	訓練学 I
黒田 将仁	動物臨床検査学実習 II、動物外科看護実習 II
仁木 隆博	動物薬理学 I・II、動物感染症学 (病原体・衛生管理)
西川 文	動物歯科学
林田 麻琴	動物臨床看護学各論 II
兵藤 陽子	英会話
福田 由吏	ビジネスマナー I・II、コミュニケーショントレーニング
藤本 翔子	動物外科看護学実習、動物臨床検査学実習
前田 しのぶ	ペットアロママッサージ I・II
増子 元美	動物適正指導論、高齢動物看護学、幼齢動物
赤星 麻央	訓練学 II
山中 彩紗子	動物行動学 II
吉川 文香	動物内科看護学実習

V事業別報告

1 教務関係

- ① 学生数 3/13 現在 1年生 60名 動物看護学科 49名 (休学者1名)
動物管理学科 11名 (退学3名)
2年生 52名 動物看護学科 40名 (退学3名)
動物管理学科 12名 (退学4名)
3年生 43名 動物看護学科 43名 (退学2名)
- ② 試験 1、2、3 学年前後期試験を実施
- ③ 資格試験
- ・第4回愛玩動物看護師国家試験 43名受験 37名合格 (合格率 86.0%)
 - 第3回国家試験既卒者 46名受験 41名合格 (89.1%)
 - ・PSG トリマーB級 8名受験 7名合格 (87.5 %)
 - ・PSG トリマーC級 20名受験 20名合格 (100 %)
 - ・愛玩動物飼養管理士1級 3名受験 3名合格 (100 %)
 - ・愛玩動物飼養管理士2級 60名受験 55名合格 (91.6 %)
 - ・その他のライセンス 延べ 84名受験 75名合格 (89.3 %)
- いぬ検定初級、動物救急救命、犬の心理栄養学、Excel・Word 検定3級等
- ④ インターンシップ
- ・50か所以上のインターンシップ先(動物病院 トリミングサロン ペットショップ その他)で実習を実施。3年生90%以上がインターンシップ先で就職内定
- ⑤ 飼育動物
- ・犬19頭、猫14頭、保護猫14頭、エキゾチック39頭(ハト4、カラス9、ニワトリ4、イグアナ1、ウズラ4、カメ12、クジャク1、ニホンザル1、ウサギ1、ワニガメ2)、ポニー1 計87頭(2026年3月10日現在)
- ⑥ 保護猫受入れ譲渡活動(R7.4.1~R8.3.13)
- ・受入頭数5頭、譲渡頭数10頭(内5頭ミルボラ猫)、第12、13回譲渡会開催、県愛護センターミルボラ5頭受入
- ⑦ 動物介在活動 10/23 みゆきの里、11/13 パウラスホーム、12/18 ディアプロ、1/15 わらべ苑
- ・動物介在教育 AAE 10/16 ぞうさんクラブ、12/20 菊水学園

2 学生募集

- ⑧ オープンキャンパス(2月末時点) 11回実施
参加者生徒延べ320名、実数251名(昨年323名、249名)
保護者183名 昨年186名
- ・県外からの参加者が増え、入学者増につながっている。
- ⑨ プレスクール 4回実施、対象2026年度入学者(23期生)
- ⑩ 九動進路説明会令和7年6月17日14:00 学院4F
- ・参加高等学校:湧心館、大津、熊本農、菊池農、鹿本農、翔陽、熊本中央、開新、球磨中央、熊本国府、鎮西、北稜、阿蘇中央、ルーテル、八代農業、八代白百合、矢部、天草拓心、矢部、立花(福岡)、唐津青翔(佐賀)、玖珠美山(大分)(21校22名参加) (昨年15校15名)
 - ・内容:概要、3年制動物看護学科、就職状況について
- ⑪ 高校学校ガイダンスに出席(3月11日現在)
22ヶ所(参加数324名、3月予定2カ所)

⑫ 高校訪問 九州・種子島・奄美大島・沖縄

	合計	熊本	福岡	大分	宮崎	佐賀	長崎	鹿児島	沖縄
訪問高校	173	92	12	8	2	4	6	30 (種子島 2、奄美 4)	19
総回数	325	215	14	13	3	9	10	42 (")	19

⑬ 資料請求者 (3月4日現在) 2,128件 (昨年 2,342件)

3 出願者と入学者選考

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
高等学校長推薦	52 (45)	53	52	50	50
自己推薦	27 (17)	6	11	11	11
一般	10 (4)	4	7	4	4
出願合計	89名 (23 不合格)	82名 (18 不合格、1 辞退)	70名 (8 不合格、3 辞退)	66名 (5 不合格、2 辞退)	65名 (4 不合格、2 辞退)
入学予定者	65名	63名	59名	59名	59名

4 就職状況

2年生動物管理学科 (12名) 就職内定者 9名、海外進学1名 (2026.3.12 現在)
ペットショップ内トリミング施設 3、ペットリゾート施設 2、動物病院 2、海外ワーキングホリデー 1
3年生動物看護学科 (43名) 就職内定者 40名 (2026.3.12 現在)
動物病院 32、九州自然動物公園 1、養鶏 1、競走馬育成 1、実験動物 1、創薬研究開発 1、総合食肉商社 1、ペットリゾート施設 1

5 学院行事

- ① 海外研修 2年生 52名
日程 11月10日(月)～11月15日(土) 4泊6日
インドネシア・バリ ウダヤナ大学獣医学部、動物福祉団体 BAWA との共同研修
引率 高木、井上、林小百合
- ② 校外研修 6月 6日(金) アニマルフレンズ(2,3年生)、熊本市動植物園(1,2,3年生)
- ③ 校外合宿研修 1年生 61名
日程 10月28日(火)～31日(金) 3泊4日
南小国町ファームステイ及びかじかの森での集団研修
引率 高木、井上、森元、津田、工藤、西島、林典子、林小百合
- ④ レクリエーション
5月21日実施 ①借り者リレー ②ドッジビー (県立体育館)
10月17日実施 バレーボール (県立体育館)
- ⑤ 竜之介・九動合同動物慰霊祭 12月7日(日) 9:00 於: 学院4F
- ⑥ 九動祭 12月7日(日) 10:00～16:00 来場者 375名 (103.3%)
実行委員長 2年 野下美里

6 職務分担

徳田竜之介	学院長	
本田公三	副学院長	
高木弘和	教頭	3 学年副担任
大杉剛生	主幹	
津田圭子	主幹	
工藤正則	主幹	1 学年副担任
森元和昭	主幹	
林小百合	主幹	
西島信彦	学生課長	
林典子	事務長	
井上竜一	教務課長	1 学年担任
紫垣知江	学生課主任	
橋本沙耶	教務課主事	2 学年副担任
後藤翔太	教務課	3 学年担任
高橋理美	事務局主事	
乗本莉奈	教務課	2 学年担任

VI 九州動物学院 3つのポリシー

本学院の教育理念、教育目標を実現するために、次の3つのポリシーを定める。

I アドミッションポリシー (Admission Policy 入学者受け入れ方針)

本学の基本理念、教育目標、ディプロマ及びカリキュラムポリシーの目的達成のために以下の入学者を求める。

- 1 動物を愛し、その生命を尊重できる者
- 2 動物の保健、医療、福祉、愛語および適正飼養分野で活躍するために必要な知識と技術を主体的に学ぶ意欲のある者
- 3 動物医療者あるいは動物管理者としての使命感と倫理観をそなえ、社会に貢献したい意志のある者
- 4 チーム医療を担える協調性をもち、動物と飼い主に対しおもいやりをもち、信頼関係を構築できるコミュニケーション能力をもつ者
- 5 本学のカリキュラムを理解し積極的に挑戦し、困難に立ちむかい、問題を解決する自己能力の向上に努める意欲のある者

II カリキュラムポリシー (Curriculum Policy 教育編成・実施の方針)

学院の基本理念である生命を尊重し、動物と人間社会に真の絆をきづき、動物の保健、衛生、福祉の分野に貢献することを目標に基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・適正飼養学、実習分野の科目を体系的に授業展開し、ディプロマポリシーの達成をはかる。

- 1 動物看護学と管理学を基礎的体系的に理解し、動物看護と管理の学びを深めてゆく。
- 2 動物看護と管理の実践で基本的な能力を身につけ、専門職としての基盤である対動物、対人支援能力を育む。
- 3 実習を通じ幅広い看護観と管理観を養い、段階的反復的な実習で実践力を養成する。
- 4 動物看護と管理の役割を理解し、連携、協働する教育を課外活動と科目に連動させて編成している。

III ディプロマ・ポリシー (Diploma Policy 卒業認定および専門士の授与に関する方針)

本学院は基本理念、教育目標に定める人材を養成するため所定の期間在学し、定められた専門分野に関する知識、技能、教養力を身につけ、所定の単位を習得する。学院の定める試験に合格し、動物の保健、医療、福祉、愛語および適正飼養の向上に寄与することができる学生に卒業を認定し専門士の称号を授与する。

